

第2回海陽町立海南病院改革検討委員会 議事録

令和2年1月28日(火)

19:00~20:00

海陽町役場海南庁舎

3階大会議室

委員長：病院再編に関する話題ですが、対象地域だけでなく社会的に大きな注目を浴びている。先頃の鳴門病院をはじめとする7病院が対象医療機関から除外との発表もあった。海南病院に関しましては厳しい状況に変わりなく、今後は地域住民の熱意を得て議論をはかる必要があると思う。

事務局：議題（1）第1回検討委員会の協議事項についての説明

事務局：議題（2）院内タスク・フォースでの検討事項について

1. 実施している事項について説明

委員：住民の方から色々話を聞いて、救急とか怪我の人たちは海南病院に断られると海部病院、阿南、小松島に行かなければならない。海南病院は受け入れる負担をすぐに投げ出している。かかりつけじゃなかったら断るのはなぜ。受付時間間際に行ったら看護師や受付の「受付できないかもしれんよ」みたいな切ない対応がある。そういう声の中から聞こえてくる。はじめから「どうぞ」と言って欲しい。それで印象が変わってくると思う。患者さんもそんなにいないのに、待ち時間があるのはなぜ。丁寧な対応・説明があればいい。高齢者とか熱があったら待たされてしんどいのに、ベッドが空いているなら横になってもらうなりの対応があればいい。患者さんのためにという気持ちが感じられない。

委員長：地域から信頼される病院を目指すなら、そういった意見を参考にして考え直してもらいたい。

事務局：院内タスク・フォースで「地域から信頼される病院を目指す」、「一般会計からの繰入金を減らし健全な経営を目指す」を目標にいたしまして、すでに実施していること、今後実施していきたいこと、また実施するための課題の抽出を行っているが、今後海南病院の目指すべき方向性を委員の皆様のご意見をいただきながら海南病院のアクションプランとして取りまとめていきたい。

委員長：救急患者の受入は一番何が根本的に不満なのか。病院に行ったときに

門前払いされるのが嫌だと思う。何が専門とか検査が出来ないから断るのでなく、どういう状況か診てあげて、そのあとに違う病院へ送ってあげる親切さ、そういう事も検討したら実績もあがってくるのでは。

事務局：2. 令和2年4月からの実施に向けた事項についての説明

委員長：医療機関には施設基準があり、ダウンサイジングという言葉も出ている中で、病床数を減らしても人員削減につながらない理由を具体的に説明できるか

事務局：院内タスク・フォースの話の中で、基準では夜勤を行える看護師が16人必要、夜勤月平均72時間を超えての夜勤が出来ない取り決めがあり、現在18、19人の入院であるが、それが45床満床であっても入院してもらう中で、看護師数の基準があるので、満床が半分になったからといって、看護師が半分でいいということには繋がらない。今後ダウンサイジングについても考えていくが、それ以外についても検討していかなければならない。

事務局：3. 将来的な実施に向けた事項の説明

委員長：議題3 その他にうつります。全体を通して質疑や提案があれば発言をお願いしたい。

委員：前回の会議で再編・統合におけるダウンサイジング等の説明がありましたが、院内タスク・フォースで検討しているか。

事務局：院内タスク・フォースでも病床削減の検討は行っている。1床当たりにおける国の交付税措置の話や、必要な看護師数の話を行っている。現在病床の削減を第一に考えるのではなく、今まで病院として出来ていなかったこと、今後町立の病院として出来ること、より多くの患者様に来てもらうこと、収益の増収に繋がることを検討している。今後委員の皆さんの意見を頂いて、国の財政支援制度の中で病床を減少するごとに国の補助金が出る話も出ているが、具体的な金額も詳細も出していないので、情報収集を行いながら、ダウンサイジングにつきましても検討していかなければならない。

委員：内科・外科・整形外科ごとの診療実績を出すことはできるか。

事務局：次回資料を提出させていただく。

委員：令和元年10月から毎週月曜日の内科診療を16:30から18:00に延長

したら患者さんは増えたか。仕事終わってから受診されるとか。その成果を教えてもらいたい。

委員：まだ数人しか受診していない。まだ行き渡っていないところもある。しかし、その数人の中でも母親を連れて来たとか仕事が終わって来た等、いろいろな話を聞いたので、続けていきたい。

委員：先日、徳島県で厚生労働省の説明会があり、地域で再検証をすることについて誤解があって、機械的に合併とか縮小を上から求めるものではないと、多くの自治体で混乱になっているので、これに配慮した発言があったが、基本的に我々に求められているのは、目に見える形で、数字で再検証していくことである。この会で考えていけないことが2つあり、1つは海南病院の機能。急性期を回復期に変更したということだったが、このまま救急を受け入れるのか。機能を一般からどう転換するのか。看取りや長期入院を取るのかの機能の部分。あとは病床数をどうするか。タスク・フォースの意見を聞いていて、厳しい言い方かも知れないが、施設基準や人員を守っていたらできませんという答えが多くて、それだったら決められない。原点に帰って、そういうことを取っ払って、何ができるのかということタスク・フォースの中で考えてもらいたい。具体的に言えば、45床を減らすのか、機能をどうするのか。施設基準でできないと言うのであれば話が進まないし、この会をする必要がない。ではなくて、これをするためにはどういうことをしなければならぬか。例えば、看取りとか療養型にするのであればどういう問題があって、どれをクリアしなければならぬかを考えていかなければならぬ。

委員長：僕もその意見に賛成である。今まで海南病院が担ってきた役割があるが、人口が減ってきて役割が決まってきたのではないかと。海部病院が県立であって、海南病院が同じようなことをしても立ち直らせることはできないのではないかと。中途半端な改革は望まれていないように思う。地域の実情を把握して、こんな病院があったらいいなというのがあろうと思う。急性期の後に海南病院が診てくれるというような。看取りの患者も多くなっているし、訪問も大事になってくる。今のやり方では訪問も難しい。病棟勤務の看護師は出ていけないので、外来の看護師だけを対象にしていると思うが。思い切った改革が必要だと思う。

委員：海南病院だけで考えると、看取りも難しい、長期入院も難しい。しかし、町民の方からすれば、ベッドが空いているのにどうしてできないのかということになる。海南病院、海南荘、穴喰診療所の3つの施設を結びつけていければと考えている。そうするとかなりの部分解決でき、他の地

域、主に県立病院との連携をどうしていくのかを来年度考えていきたい。

委員：院内の会にも参加したが、診療所では難しい患者を海南病院で健診をお願いしたりしている。訪問看護・訪問診療は宍喰診療所に近い所には出向いて行くことはできるし、時間は少ないが、訪問診療をこちらの地区に入ることも考えていってもいいのではないか。前回の検討委員会でもあった話であるが、海陽町の外にお金を持っていかせるよりは、財政を考えると中に引き止めていくことを検討する必要がある。

委員長：町内の民間病院・診療所も訪問診療等を共同ですればよい。ある程度の数は、海部病院としているが、海南病院ともそういう形を作れば、町民の方にも喜んでもらえる。海南病院が難しい所を僕が補うこともできる。町民のニーズを考えて、院内タスク・フォースで検討してもらいたい。

委員：行政の立場で発言させていただきますと、忘れてはいけないのは、海南病院は災害拠点病院であるということ。当然海部病院は災害拠点病院だが、海南病院が災害拠点病院として何ができるのかということアクションプランに盛り込んでもいいのではないか。先ほど機能転換という話があったが、その転換によって医療機能の向上の前提となる設備投資についても思い切って考えてみて、アクションプランに盛り込み、それと合わせて持続可能な病院運営が両立できるかについても私も含めて検討していかなければならない。

委員：訪問診療・訪問看護について、昨年海南病院にやりませんかとオファーしたが返事がなかったのも、民間病院と連携を組んで行っている。タスク・フォースの課題として訪問診療・訪問看護をするために何が問題なのか、するためにはどうすればいいかを考えてほしい。もう一つは、海陽町はエリアが広いので、在宅への訪問診療と地区の公民館に住民を集めて診療をするというのも海陽町に合っていると思う。そういうことをするための課題を抽出して検討してもらいたい。もう一つは、看取りや長期療養も多くなっているのも、療養病床を持つことに何が問題となるのか検討してもらいたい。

委員：公民館での診療は、昭和30年代から宍喰診療所は行っているためノウハウはある。旧海南地区では、相川や浅川は分散しているので、巡回診療をして、それから海南病院に行くこともあると思うので検討してもいいのではないか。

事務局：「徳島医療コンソーシアム推進協定」の締結及び前回の議事録を「氏名なし」で町のホームページに掲載することを説明

委員：次の会議では、中間報告のとりまとめを行うことになっていると思うが、
どのような形のとりまとめを行うのか。

事務局：前回の会議で、今年の8月くらいまでには最終案をとりまとめたいと
いうことで話をし、中間報告のとりまとめの内容については、本日説
明した中で、様々な意見をいただいたので、持ち帰って再検証し、こ
ういう方向で進んでいきたいという中間報告を次回の会で提案したい。

委員長：以上で、本日の議題は全て終了いたしました。次回の会議日程につい
て、事務局より説明して下さい。

事務局：次回の会議日程ですが、2月中に開催できればと考えております。2
月25（火）の午後7時からお願いしたいのですが、いかがでしょう
か。

（2月25日（火）に決定）

ありがとうございます。また、会場も決めたらうえて、あらためて文書
でお送りさせていただきます。よろしく願いいたします。

委員長：次回は2月25日（火）午後7時から、場所は後日事務局より連絡さ
せていただきます。それでは、以上で本日の会議を終了させていただきます。
長時間の慎重審議、ありがとうございました。